

【教育目標】

進んで学ぶ子ども
思いやりのある子ども
たくましい子ども



夢に向かって

～未来を奏でるきらめく感性～

学校だより No.5

令和5年9月1日

中央台東小学校

校長 松崎 健一

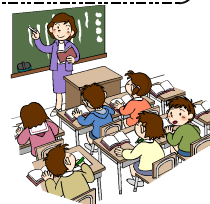
「皆さんで、元気で楽しい自分たちの中央台東小学校を創りましょう。」

2学期がスタートして1週間となりました。夏休み中には、交通事故や水の事故をはじめ、熱中症の連絡もありませんでした。ご家族で有意義な夏休みを過ごすことができたのかなと思います。これからも、子どもたち自身が「自分の命は自分で守る」行動がとれるよう指導していきます。特に、暑い日がまだまだ続きますので、熱中症にならないよう十分に注意していきたいと思います。

また、新型コロナウイルス感染症の感染者数が増えているとのこと。お盆過ぎ頃から市内でも急増傾向が見られるそうです。



学校では、①暑さ対策を踏まえた校舎内の十分な換気 ②こまめな手洗いの呼びかけ ③咳エチケット について指導し感染防止に努めているところですが、ご家庭でも感染防止の取組をよろしくお願いします。大人も子どもも連日の暑さ等で体の抵抗力が低下していると思われます。登校前は、お子様の健康観察をされ、体調が優れないときには、無理をせず登校を控えさせることも感染防止に繋がりますので、ご協力ください。



～全国学力学習状況調査

国語・算数ともに正答率が全国平均・県平均を大きく上回る！

今年4月に実施された結果が、8月1日（火）に新聞公表され、本県の状況等をご覧になられた方が多いかと思います。本校の6年生は、実施した国語・算数において全国と県の平均正答率を大きく上回っていました。この調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、これまでの子どもたちの頑張りや先生方の指導を大いに評価したいと思います。

一方、併せて実施されている60項目にわたる児童生徒質問紙調査の結果からは、課題となる傾向が見られました。肯定的回答が県平均を大きく下回る項目がいくつか見られるのです。そのいずれも“主体性”が問われている項目です。（「人が困っているときは、進んで助けますか。」「地域や社会をよくするために何かしてみたいですか。」「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」など）

学校だより No.2でも書きましたが、これからの社会は「将来を予想することが極めて困難な社会」「正解が一つとは限らない社会」とか言われます。そして、そのような社会の中で、一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せを実現するには、「児童生徒に自らの力で豊かな人生を切り拓き、多様な他者と共に豊かな社会や地域を創造する力を育むことが不可欠」と言われています。そのための「学力」でなければと考えています。学習指導要領には、育成すべき資質・能力を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」「学びに向かう力、人間性など」の3つの柱で整理され、このような資質・能力をバランスよく育むことが示されています。本校の児童生徒質問紙調査の結果からは、特に「学びに向かう力、人間性など」に関わる“主体性”をさらに育むために、各学年の発達の段階を踏まえて、授業をはじめとする全ての教育活動の中で、どのように取り組んでいくべきかを考えていきたいと思っています。

（全国学力学習状況調査の考察について改めて文書にてお知らせします。）

4月に実施された全国学力学習状況調査ですので、現在の6年生であれば、児童生徒質問紙調査の結果はさらに肯定的に変わるかなと思っています。最上級生としての自覚ある行動が見られますし、授業や各種行事への取組に「主体性」も見えてきました。今後の更なる成長を楽しみにしています。



PTA奉仕作業へのご協力、ありがとうございました。

8月26日（土）は、早朝より校舎内の窓拭き及び草刈り等にご協力いただきました。特に、お父様方には、大変暑い中での外の作業となり、お世話になりました。子どもたちの学習環境を整えるためには、やはりPTAのご協力が必要だと改めて感じました。今後ともよろしくお願いします。

